

第4回門真市廃棄物処理業務委託事業者選定委員会議事録

会議の名称	第4回門真市廃棄物処理業務委託事業者選定委員会
開催日時	平成26年11月12日(水) 午前10:00～午後6:30
開催場所	門真市リサイクルプラザ5階 第1会議室
出席者	<p>浦邊 真郎委員長 宮田 秀明副委員長 花嶋 温子委員 森本 芳樹委員 稲毛 雅夫委員 森本 訓史委員 市原 昌亮委員</p> <p style="text-align: right;">【出席委員数7人／全7人中】</p> <p>事務局 市民生活部 次長 溝口 環境政策課 課長 橋川 環境政策課 課長補佐 小西 環境政策課 主査 柁木 環境政策課 係員 和田 クリーンセンター業務課 課長 船越 クリーンセンター業務課 主査 浅崎</p>
議題 (内容)	<p>1、リサイクル施設運転維持管理事業の1次審査及び 2次審査について</p> <p>2、清掃施設運転維持管理事業2次審査について</p>
傍聴定員	— 非公開のため
担当部署 (事務局)	<p>(担当課名) 市民生活部 環境政策課 (電話) 06-6909-4129 (直通)</p>
橋川 (事務局)	<p>それでは、皆さまお集まりいただいておりますので、只今より第4回門真市廃棄物処理業務委託事業者選定委員会を開催させていただきます。環境政策課の橋川でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>本日は、委員の皆さま7名ご出席いただいておりますので、門真市附属機関に関する条例施行規則第5条第2項の規定より本委員会が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また議事録作成のために録音させていただいておりますの</p>

<p>委員長</p>	<p>で、ご了承お願いいたします。 それでは、委員長よろしくようお願いいたします。</p> <p>本日は一日審議するというので、時間的にも相当厳しい中 でご審議賜ろうと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願 いします。</p>
<p>橋川 (事務局)</p>	<p>ありがとうございます。ここで、お手元に配布させていただ いております資料の確認をお願いいたします。</p> <p>まずA 4一枚ものの次第でございます。本次第一枚ものでござ います。A 3のホッチキス留め二枚もの。リサイクル施設運 転維持管理事業総合評価基準というものでございます。続きま して、リサイクル施設運転維持管理事業の事業者の概要からク リップで留めております。採点の資料でございます。以上、お 手元に揃っておりますでしょうか。</p> <p>それでは、以下の会議進行を次第に基づきまして委員長よろ しく申し上げます。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。それでは、次第1の「リサイクル施設運転維 持管理事業1次審査について」まず事務局の方からご報告等お 願いいたします。</p>
<p>小西 (事務局)</p>	<p>リサイクル施設運転維持管理事業について、まずは現在までの 経過報告をさせていただきます。</p> <p>入札参加資格確認を有する2者より11月5日に入札書が提出 され、開札を行い、入札価格が決定いたしました。</p> <p>併せて、第一次審査に必要な提案書等関係書類が提出されま した。以上が、現在までの経過でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。以上ですので、早速一次審 査を始めたいと思います。事務局からまたこの資料についてご 説明をお願いいたします。</p>
<p>小西 (事務局)</p>	<p>評価基準及び同配点(案)について説明させていただきます。 配布いたしております資料の中から、リサイクル施設運転維持 管理事業評価基準配点(案)をご覧ください。</p>

こちらのA 3 二枚ものの分です。最初の項目である①企業の組織・実績・配置技術者（業務委託）と（工事）につきまして、それぞれ提出された資料から、事務局におきまして配点いたしましたものがこの同配点（案）でございます。

それでは、（業務委託）の各項目についてご説明いたします。資料のうちから、企業からの「提出資料等の写し」と配点（案）をご覧いただきたいと思っております。

最初の項目ですが、企業の組織のうち資本金ですが「提出資料等の写し」様式1 をご覧ください。こちら事業の概要の資本金が両者ともに1 億円を超えることから、ともにA ランクの5 点としております。

次に事業経歴ですが、A 者 102 年、B 者 35 年ですので、両者とも事業経歴 30 年以上ですので、ともにA ランクの5 点としております。

続きまして従業員数ですが、A 者 3476 人、B 者 856 人ですので、両者とも従業員数 300 人以上ですので、ともにA ランクの5 点としております。

次に企業の実績、リサイクル施設での処理能力（5 時間当たり 40 t）の維持管理実績ですが、様式3 をご覧ください。

こちら様式3 ですが、A 者は9 件、B 者は該当する規模のものがなく、A 者はC ランクで4 点、B 者は5 件未満のD ランクの0 点としております。

次に配置予定技術者（統括責任者）の実務経験ですが、様式4 をご覧ください。

こちら、実績を年数換算しますとA 者は13 件、B 者は7 件ですので、A 者はA ランクの10 件以上の5 点、B 者は6 件から9 件のB ランクの3 点としております。

次に主な資格、廃棄物処理施設技術管理者（ごみ処理施設・破碎・リサイクル）の認定試験合格者数ですが、様式1 をご覧ください。

A 者は、39 人、B 者 45 人ですので、ともに20 人以上のA ランクの5 点としております。

次に ISO 認証取得のうち、ISO14001 につきましては、資料、ISO 認証の写しをご覧ください。

ISO に関しましては、両者とも取得しておりますので、ともにA ランクの5 点としております。

	<p>ここまでが（業務委託）の評価でありまして、次に（工事）の各評価項目に移ります。</p> <p>次に様式3-1をご覧ください。リサイクル施設での運転実績ですが、A者の施工実績は、1億円以上の実績が5件でありましてAランク10点、B者の施工実績は、全て3千万円未満でありましてDランク0点としております。</p> <p>次に、経営事項審査の総合評価点（P点）ですが別添の経営規模等評価結果通知書、総合評定値通知書の写しをご覧ください。</p>
橋川 (事務局)	<p>結果通知書という名前で、後ろから2つ目の資料でございます。</p>
小西 (事務局)	<p>ちょっと印刷が荒くて申し訳ありませんが、総合評価点（P点）一番左の総合評定時の一番下の部分です。A者1582点、B者は1005点で両者ともに1000点以上のAランク5点としております。</p> <p>次に配置予定技術者のうち、監理技術者の実務経験ですが、様式5をご覧ください。</p> <p>A者の監理技術者及び現場代理人の実務経験でございますが、実施要領等により兼ねることができることとしておりますので、A者、B者とも同一人が兼ねておりますことから、監理技術者及び現場代理人の実務経験はA者は14件、B者は5件で、A者は10件以上Aランクの5点、B者は3～5件のCランク2点としております。</p> <p>次にISO認証取得のうち、ISO9001につきましては、ISO認証の写しをご覧ください。</p> <p>A者は取得しておりますので、Aランクの5点、B者は取得しておりませんので、Dランクの0点としております。</p> <p>以上ここまでが、第一次審査の評価内容のうち、①企業の組織・実績・配置技術者の事務局が作成いたしました評価点（案）の説明でございます。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。これにつきまして、何かご質問いただくことございますでしょうか。</p>

A委員	あのB者さんの方の様式の2ですよね。マネージメント会社、運転管理業務と組織①、②というのは、その親会社とはどういう関係なんですか。独立してるわけじゃなくて、連結決算してるとか、資本関係はみな親会社、Bが持っててこれら組織名①と②の従業員もこの職員総数の中に入ってるんですか。
榎木 (事務局)	グループ企業ということで。代表者も同じ代表者で。
A委員	代表者同じなんで、職員総数とか資格とか中に組織全部入っていると。またB者の工事实績。資料3-1でB者の5番目のところですね。28年7月までの現在整備中というのは、実績の中にもう今年の6月というか28年まで入れた年数ですか。実績数6件と言うとった、5件を6件にされてるこの6件の意味がちょっと分からないんですけど。年数でやられてて現在まで28年まで入ってますか。
榎木 (事務局)	一応これ工事实績ということですので、まず一つは金額的に今委員長言われてるように3,000万以上が一番下の6億ですが、これはまだ完了まで至っていないということで、実績にはカウントしておりません。
A委員	していない。
榎木 (事務局)	はい。あくまでも完了実績。
A委員	これが多分、A市での実績かどっかのやつなんですかね。焼却等ちょっと分かんないんですけど、同じところで同じ600億くらいのでかいやつを20年間のあれでその前の様式3・B者の10番、これもA市なんですかね。84億1,600万、ちょっとどうか分かんないんですけど。
榎木 (事務局)	一応、うちの実績の求めていますのが、5時間働いて40tということですので、入ってません。

A委員	ここにある運転管理業務 36 件というのはというのは、評価は入ってないということ。
榎木 (事務局)	入ってないです。うちの該当する基準に満たないということです。
A委員	40 t なら 40 t はちゃんとこういう評価をしますというのは、向こう知ってるんですか。この評価をしますというのは知ってるんですね。うちは 36 件って書いたのに、全然評価がおかしいやないかいうそれは大丈夫ですね。
榎木 (事務局)	はい。
A委員	分かりました。
委員長	何か他にありませんか。
F委員	ちょっと、よろしいでしょうか。事業経歴なんですけど、A 者は 102 年となってます、これ組織概要で主な業務内容というふうになってるんですけど、この業務を始めて 102 年になるのか、企業としての経歴ということなんでしょうか。まあ、それはそういうふうになるんですかね。あの A 者 B 者と比較して。
A委員	これも A 者の方も、合併して古い方やっておられるのかどっちなんでしょう。古い方やろね。
榎木 (事務局)	言われてるように、変遷等ございますけど、古い方古い方で事業経歴を見ております。
F委員	例えばその中で、主な業務内容と書かれてるのを見ますとね、B 者の方から何か言い分出てこないのかなと思ひまして。
A委員	職員総数とか資本金というのは全部この事業で評価せざるを得ない。そういうふうにしていきますから、しょうがないのでしょうね。焼却の方もそういうふうにしてるんですよ。

<p>梶木 (事務局)</p>	<p>はい、同様にやっております。</p>
<p>F 委員</p>	<p>そういうふうな中でやっているということで。すみません。</p>
<p>橋川 (事務局)</p>	<p>評価基準といたしましては、業態までは指定しておりませんでした。</p>
<p>A 委員</p>	<p>まあ、だから、普通のここの評価のさっき言われた資本金とかこの辺も別に 5,000 万以上あればというようなことなので。</p>
<p>F 委員</p>	<p>企業の安定感とそういうものであれば。</p>
<p>A 委員</p>	<p>そう、安定感。大企業と中小、零細と分けるようだとまたちょっとややこしい。100 億とかいうのが出てくると、100 億以上を A ランクとかなるとおかしいんちゃうかという話になるが。その他何かありますでしょうか。 一応そうしますと、今まででこの配点とさしていただいたのが、事務局案通りということで行きたいと思っております。次に提案書の内容についてお願いいたします。</p>
<p>小西 (事務局)</p>	<p>では、今から提案書の方お配りさせていただきます。 では、提案書の内容についてご一読いただき、約 20 分間、評価の方お願いしたいと考えております。 評価に際しまして今から事務局の方から、評価用紙の正・副をお配りいたしますので、両方に同じように評価を記入していただきまして、評価後に副を事務局が回収させていただきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。 10:45 になりましたら、お声掛けの方させていただきますのでちょっと時間がタイトで申し訳ないのですが、よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center;">配点・評価作業 20 分</p>
<p>橋川</p>	<p>それでは、20 分経過いたしました。皆さま方ご記入いただけ</p>

(事務局)	<p>ましたでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、このままで価格点につきましてご説明をさせていただきます。資料を配布させていただきます。</p> <p>それでは、お手元の資料価格点につきまして、配点案につきまして、ご説明申し上げます。</p>
<p>榎木 (事務局)</p>	<p>そしたら、価格点についてご説明させていただきます。まず、両方から提出されました入札価格でございますけども、A者は、1,160,000千円でございます。B者は、1,098,000千円でございます。これを価格点計算式に当てはめて計算しますと、A者は、75.724点（小数点第四位四捨五入）でございます。B者は、80点満点でございます。以上です。</p>
委員長	はい、ありがとうございます。予定価格は公表していますか。
<p>榎木 (事務局)</p>	しています。
A委員	このB者で大体何%くらいなんですか。予定価格。80点満点で。
<p>榎木 (事務局)</p>	A者が約90%です。
A委員	90%ですか。
<p>榎木 (事務局)</p>	はい。約90%です。
A委員	A者が90%で、B者は。
<p>榎木 (事務局)</p>	88%程度です。
委員長	以上、この一次審査の方は通過したんで集計してよろしいでしょうか。よろしいですか、はい。

橋川 (事務局)	そうしましたら、お手元に○をつけていただきましたものを副の方を回収させていただきます。
小西 (事務局)	では、集計の方別室でさせていただきますので、約10分程休憩の方していただいて、集計終わりましたらまたご報告の方させていただきます。よろしくお願いします。
リサイクル施設運転維持管理事業一次審査の集計 10分	
橋川 (事務局)	それでは、一定集計させていただきました。途中ではございますが、バラつきの具合、これで見えていただけるかと思えます。如何でしょうか。
委員長	一番ランニングコストがA者もB者もABCランクで分かれていますね。それ以外は大体2ランク内におさまってるんですね。ランニングコスト縮減策とその上の運転・維持管理計画のところ。A者はあくまでランニングコストのそこだけですね。ABCの。
B委員	ということは、ランニングコストはBとCに。
委員長	<p>大半なんでね。A者のランニングコストについては平均化すれば、BとCの間にくると。</p> <p>ランニングコストやったら、3と3はBとCの間にあるぐらいの。A者の評価はこのまま平均化していただいても変わらない。ところが、B者についてですね、B者が1、5、1、3、3、1、1、5、2、5、1、6、7。これも、Cランクもありますから、3つに分かれてるとこもあるけど、どうですか。これで。平均化して非常に評価が変わってしまうような感じになるのか。ABCDの評価に1個にするんだとちょっと、全般的に平均化されるんだったら大きなあれもないということでしょうか。そしたら、平均化していただいて。</p>
小西 (事務局)	それでは、評価を点数に落とし込んだものを発表させていただきます。

<p>A委員</p> <p>橋川 (事務局)</p> <p>B委員</p> <p>委員長</p> <p>橋川 (事務局)</p> <p>委員長</p> <p>橋川 (事務局)</p> <p>委員長</p> <p>小西</p>	<p>まずA者ですが企業の組織・実績・配置技術者の配点は 64 点。提案書の内容の配点は、75.429 点。価格評価点は 75.724 点。合計で、215.153 点です。</p> <p>次にB者です。企業の組織・実績・配置技術者の配点は 37 点。提案書の内容の配点は、60.286 点。価格評価点は 80 点。合計で、177.286 点です。</p> <p>以上が一次審査までの集計の結果になります。</p> <p>価格点が4点なんぼの差だけど、技術系っていうか非常に大きい38点違うということで逆転というのは、最終二次提案していたで、二次評価をしても多分転ぶことない限りひっくり返ることはないと。40点でしたっけ。二次評価の点数は、</p> <p>80点です。</p> <p>70ぐらいの差があったから。</p> <p>そういった意味ではちょっと高い。落札率90%だけど。安心できるというようなことで評価が出来るのかなと思います。そしたらですね、一次結果が出来ましたので、ご意見がなければちょっと早いですが休憩に入ってよろしいですか。</p> <p>はい。おかげさまで時間内に収まりました。昼からそれぞれヒアリング入ってきますので、スタートは12:30で約束しておりますので、その時間にスタートとさせていただきます。</p> <p>今日のヒアリングは、パワーポイントなんか使われたりするんですか。</p> <p>はい。スクリーンの用意をという話がございましたので、パワーポイントとか色々工夫はされると思います。</p> <p>パワーポイントされる時に資料を持って来るんですか。</p> <p>基本的にこの提案書の内容で。</p>
--	---

(事務局)	
委員長	パワーポイントで新たに資料が配られることはないかと。分かりました。ここの部屋ですか。
橋川 (事務局)	はい。
委員長	スクリーンも。
橋川 (事務局)	はい。ちょっと配置は変えさせていただきます。
F 委員	ここまでの評価点は口頭で言われましたけど、それは特に各委員には示されないんですか。メモしてなかったんですけど。点数も分からないような状態ですけど。それはいいんですか。
橋川 (事務局)	ご用意は出来ておりませんが、ペーパーで分かるものを示させていただきます。
委員長	焼却、前回のを覚えている訳ではないので、回覧でもメモでもいいんですけど、配布してください。
小西 (事務局)	回覧という形でまとめたものをご覧になっていただきます。
委員長	そうですか。午後からはまずはリサイクル。それが終わって焼却。
橋川 (事務局)	はい。それでは、12:30 ということでお願いいたします。
	資料一式回収・昼食休憩
橋川	それではこれからリサイクル施設のA者のプレゼンに入ります。

(事務局)	<p>す。40分用意しております。残り1分になりましたら、こちらからお声を掛けさせていただきます。時間になりましたら、そこで終了となりますので、よろしくお願いいたします。それでは、早速お願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">A者の提案書の説明 40分</p> <p style="text-align: center;">(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。今のご提案のご発言等でご質問等ございますか。</p>
D委員	<p>ありがとうございました。運転維持管理業務の所で平成25年度の収集袋の破袋度評価Bの説明をお願いしたいんですけど。</p>
A者	<p>お答えいたします。破袋率がございましてBをいただきました。</p>
D委員	<p>すみません。破袋機が13機。これは納品数ですか。ここにある訳では。</p>
A者	<p>お答えします。こちらの方13機は納入実績でございまして、本施設にございますのは4機でございます。</p>
D委員	<p>それが、十分に働かなかったということですか。</p>
A者	<p>お答えします。排出されるごみの種類が機械の基準に合っていない場合、小袋等が含まれておりますので、そういったものもみなでなされた関係上その様な評価となっております。</p>
D委員	<p>その点に関して、御社はメーカーだということで、そういう所がPDCAで回るということが特徴ではないのですか。</p>
A者	<p>はい、お答えします。今回の結果を持ちまして、専門技術者と相談し今後破袋機の整備の充填と、能力強化を進め組織の運営に反映したいと考えております。</p>

D委員	すみません、最後にもう一つだけ。平成 23、24 年度はどうされてたんですか。
A者	お答えいたします。その資料につきましてはご用意しておりませんので、後日改めてご回答という形でよろしいでしょうか。
D委員	はい、結構です。
B委員	LED の積極的採用の費用というのは入札価格の中に入っていますか。
A者	入札いたしました金額に含んでおります。
B委員	それともう一点ですけど、その総合的なコスト削減に繋がる提案の中で、屋根貸し太陽光発電というのは具体的にはどのようなことでしょうか。
A者	はい、お答えいたします。公共施設などの屋根を使用して、太陽光発電を行いたいという会社がございます。そのため、本施設につきましても公共施設でございまして、このようなご要望がある場合には、屋根貸し太陽光発電を実施しております会社をご紹介させていただきたいと思っております。
B委員	その場合、この施設で大体、月どれくらいで可能なんですか。
A者	本施設につきましては、やはり貴市の持ち物でございまして勝手に私共からそのような建造を依頼することが出来ませんでしたので、今回については試算等はいたしておりません。
A委員	私の方からも伺いたいのですが、様式 6 (5/5) の納入実績の所ですが、⑤自動倉庫型受入供給貯留装置が一番実績が多いんですが、こういうリサイクル絡みの施設に対して 129 基なのか、単に他の商品とかいろんなものに対して 129 基なのか、大体の内訳を教えてください。

A者	はい、お答えします。リサイクル施設の受入型自動倉庫として利用しておりますのはなかなか珍しい設備でございますので、弊社の方で有しておりますのはここ1施設だと考えております。それ以外の129施設につきましては、物流倉庫等として使用しております実績がございます。
A委員	万が一、お宅の所でない方へいった場合、トラブル等起こった場合、供給や修理は出来ないんですか。
A者	お答えいたします。私共、メーカーとして専門知識を有しております。いわゆる工事、メンテナンス、請負としての形はあろうかと思いますが、日々運転していく中では、我々熟知しておりますので、例えば早急に復旧しなければならない軽度なトラブルですとかこういったものは、我々ならではのノウハウという格好になろうかと思いますが、その点につきましては、我々のアドバンテージになろうかと思えます。
F委員	今の自動倉庫型受入供給貯留装置について、初歩的な事を聞きますけど、これは自動倉庫そういう装置129基ある。箱ですね、いわゆるそのものを言っているんですか。
A者	お答えいたします。工場として、倉庫として、倉庫自体を129ヵ所納入させていただいております。
F委員	収集車で収集したごみをそこに直接受け入れる、そのための箱ではないんですか。
A者	他施設の場合ですと、自動車用の部品を貯有するための自動倉庫というふうなもので用いたりするので、一概に貴市のようにごみ受けだけに使用している訳ではございません。
F委員	すみません、もう一点お伺いしますが、1/5の実施方針の②の「公民協働」の意識を持ちと非常に強調されてますが、サービスが滞ることがないように公民協働を進めますと門真市が推進してる点を認識してのことと思われませんが、御社にとりまして公民協働を進めますというのはどういうことなんでしょう

	か。
A者	はい、お答えいたします。公民協働といたしまして、私達といたしましては、委託範囲限らず貴市のランニングコストに協力しております。また、協力していきます。次期運営更新等の提案を行うに当たりまして、リサイクル施設の長期安定運転に協力するように提案等を行い、また地元の活性化等で協力していくということを考えております。
F委員	はい、ありがとうございます。 もう一点、地元企業との連携とはどのようなことを考えていますか。参考程度に、どういった貢献ですか。
A者	はい、お答えさせていただきます。弊社の方の地元企業様への発注内容といたしましては、送風機、モーターポンプなどの整備と煤塵計、排ガス分析計、有害ガス装置等そういう装置機の点検等を発注しております。
F委員	製造はないんですね。点検、整備の発注という事で。
A者	そのですね。製造ではなく、整備、点検等を毎年確実に発注させていただきます。
D委員	すみません。見逃しているのが私と言わなきゃ。こちら門真市或いは本社関係で女性の方はどれくらいいらっしゃいますか。こちら働いていらっしゃる方の中に女性の方はいらっしゃいますか。
A者	当施設運営の女性比率と考えてよろしいでしょうか。
D委員	はい。
A者	この施設では女性は採用しておりません。会社全体としましては、おりますが正確な人数は今分かり兼ねますので、後日お答えさせていただきます。

D委員	分かりました。
B委員	一点だけすみません。施設の処理能力、設備から見た際の稼働率が1/3程度がほとんどと言えればいいのかと聞いてるんですが、実績として。本市よりも相当能力の高い設備等が入ってるのかなと正直思いますが、コスト削減を考えると今後お金を掛けずにが前提ですけど、可能なんかどうなんか色々やっていく中で、ノウハウに精通した中でそういう提案なりなんなり考えられるのかどうかちょっとお聞きしたいんです。
A者	はい、お答えいたします。課と検討になろうかと思われませんが、割合等は申し上げられませんが、一応可能ではあります。
B委員	3/5の4)(1) 予防保全主体の維持管理②の状態基準保全を積極的に採用したいという、それは大体の所どれくらいの割合なんですかね。おおよそ。いわゆるある程度この期間使えるという、大半はそれでいけるというのは。
A者	お答えします。大半はこの状態です。但し、技術等を鑑みまして、全く関係ない警備等こういったもので壊れているものもございしますが、ほぼ全てこの状態です。
B委員	③に自社製品は他社にはない高度な診断・点検を行いますとありますが、高度な診断・点検とは具体的にはどんな感じなんでしょう。
A者	ここで言いますと、自動倉庫です。他社さんが私共の自動倉庫をパッと見て、搬送機器ではあるんですけど、通常の搬送機器の点検等になると思うんですけど、我々自動倉庫としての機械としての整備のノウハウを持っているので、細かい事は申し上げられませんが、精度の高い点検をしているというふうな事でございます。
B委員	逆にそれが出来なければ、維持というのが難しいという事なんですか。もし出来なければ、そちらの会社以外では難しいと。

A者	<p>お答えいたします。安定的な運転という面であれば正直ちょっと難しいのかなと思います。当然壊れてしまって、例えばチェーンがおかしい所があるのでそのチェーンを直すというのはできるんですけど、そういった意味で先程の状態保全の診断能力というような意味で言えば、我々の方が安定するんですね。全くノウハウのない所であれば、ちょっと不安があるので、個人的にはそう思います。</p>
A委員	<p>先程お聞きした様に、ここに納入してここでいいから他にもというのはなくて、ここだけというのは何か理由があるのですか。</p>
A者	<p>お答えします。残念ながら今現在はお役に立っておりませんが、今後リサイクル施設を入れないと決めている訳ではございませんので、要件が合えばというふうには。</p>
A者	<p>補足をさせていただきます。ごみ処理施設でですね、こういった自動倉庫を運営されているケース自体が非常に少なく、私の知ってる限りでは全国にもう1ヶ所程度かと思います。やはり設備として大きくなりますので、コストの面もあろうかと思えます。施設のスペースが非常に厳しくて、ごみの受け入れ量がその施設よりもちょっと大きくて、ごみの受け入れをスムーズに出来ないという制約がある自治体の方で採用いただけると考えております。</p>
小西 (事務局)	<p>残り時間あと1分です。</p>
B委員	<p>3/5 のランニングコストの削減策としまして、エネルギーの削減と提案していますが、どの様な方法でランニングコストを削減するかお教えてください。</p>
A者	<p>お答えします。電気や水道についての使用を控えることを行っておりまして、今後も引き続きご協力させていただけるかなと提案させていただいております。</p>

<p>橋川 (事務局)</p>	<p>それでは時間がきましたので終了してください。 会場の転換に5分程お時間をいただきます。</p> <p style="text-align: center;">会場転換</p>
<p>橋川 (事務局)</p>	<p>それではこれから、リサイクル施設のB者のプレゼンに入ります。40分用意しております。残り1分になりましたら、こちらからお声を掛けさせていただきます。時間になりましたら、そこで終了となりますので、よろしくお願ひします。それでは、早速お願ひいたします。</p> <p style="text-align: center;">B者の提案書の説明 40分</p> <p style="text-align: center;">(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。 提案についてご質問はありますでしょうか。</p>
<p>D委員</p>	<p>とても興味深いご提案の一つとして小型家電のピックアップがありました。どの程度ピックアップすることによって、データはお持ちだと思いますが、輸送、資源回収と残渣の処理等について試算していますか。</p>
<p>B者</p>	<p>試算データはありますが、具体的な内容についてはまたご提案をさせていただきたいと考えています。 ピックアップに関しては様々な労力が掛かり、コストも掛かります。 私共は、輸送に関しましては自社の車両を保有していますので、それらを駆使してコストの削減などを行うことができると考えています。</p>
<p>D委員</p>	<p>今の段階で、どの程度削減できるかは分かりますか。 データはお持ちですか。</p>
<p>B者</p>	<p>はい。ただし、取り掛かって数年の事ですので、これから取り扱いを広げていく所でございます。</p>

A委員	関連して質問しますが、リスク管理の所で災害時の対応について、他の処理施設に搬入しますと提案されていますが、小型家電についてはどのような方法を考えていますか。処理出来ない場合は戻ってくるという事ですか。
B者	金属を取り除いた残渣については自社の保有する施設で処理します。
A委員	では、戻ってくることはないのですか。
B者	はい。
A委員	委託契約が可能か。
B者	はい。
A委員	大規模災害が発生した場合は、災害協定がなくても委託で処理できるのか
B者	その際は、立地場所の自治体との協議が必要となります。
B委員	様式6の⑦の所で、機器の材質の変更等を行う時に、自社施設でテストを行うと提案がありましたが、実績についてはどうですか。
B者	<p>ペットボトルや容器包装ラインや破袋機等ありますので、それらを使用して、長期に及びテストを行いご提案させていただきたいと考えています。</p> <p>また、運営する側の立場としてテストを行い多数の経験を積んでいますので、それらをご提案させていただきたいと考えています。</p>
B委員	もう一点よろしいですか。地元雇用に関して、女性や身障者の方の雇用についてお聞かせください。
B者	実際、女性や身障者に対して無理はさせられませんが、可能

B 委員	<p>性を潰したくないという思いがありますので、能力を最大限活かせる職場にしていきたいと考えています。</p> <p>今の段階では女性の雇用は特に考えていないという事ですか。</p>
B 者	<p>いえ、事務員や計量員等が考えられると思います。</p> <p>昨今、身障者の雇用については枠が決められています。当然我々も雇用に向けて最大限努力させていただいております。</p> <p>計画的に実施している内容について情報を集中させて作成させてもらった資料でございまして、適材適所に配慮して実施していきたいと考えています。</p>
E 委員	<p>運転の維持管理について、代表企業グループの30年以上の施設の維持管理実績をお持ちということですが、そこからみて、運転維持管理の対象となる施設の特徴等について教えてください。</p>
B 者	<p>びん、缶処理については多くの実績がありません。</p> <p>容器包装、プラスチックについては、自社でリサイクルに取り組んでいますので、品質低下の問題について品質確保をするために人員の確保や経験者の配置等で対応する事ができます。</p> <p>機械的に品質が落ちる場合は、例えば歯が磨耗している等の問題に対しては計画的な保守を行う事によって品質を保つように行っています。</p>
F 委員	<p>運転維持計画に関連してですが、本市のリサイクル施設の特徴としては、自動倉庫が特徴であると考えていますが、これに対してどのように認識しているか教えてください。</p>
B 者	<p>自動倉庫に関しては実績として1件ありますが、非常に特殊なものだと認識しています。</p> <p>維持管理がしにくく専門的なものだと考えていますので、我々が直接、どうこうというのではなく、メーカーと共同で維持管理を行っていきたいと考えています。</p> <p>ブラックボックス化されている部分もありますので、メーカ</p>

	<p>一と協力体制が不可欠と考えています。</p>
A 委員	<p>様式 6 でエネルギー管理士とありますが、これは資格的なものですか。</p>
B 者	<p>省エネ法に関連する資格でして、認定事業所に指定されている所に必要なもので、こちらが該当するかは分かりませんが、これも提案させていただきたいと考えています。</p> <p>エネルギー管理士とは法的資格になります。</p>
A 委員	<p>⑦の総合的コストの所、施設診断行う費用に関しては今回の費用の中に含まれているのか。</p>
B 者	<p>はい、含まれています。</p> <p>但し、精密機能診断となれば、外部機関へお願いする必要がある出てきますので、これは含まれません。</p> <p>本グループは 13 施設あり、12 施設において施設診断を行っており、その経験を活かし弊社オリジナルの診断を行いますという提案です。</p>
A 委員	<p>6 の地元雇用の所ですが、90%を目指しますとありますが、5 年後くらい目処と思うのですが、何人に対しての 90%ですか。</p>
B 者	<p>これは全ての人員に対しての 90%で、可能な限り対応していきたいと考えております。</p> <p>立ち上げに関しては、立ち上げチームを発足させて万全の体制で臨みます。</p> <p>雇用の機会を設けて来ていただけるのであれば、身障者、女性も含めて対応させていただきます。</p>
B 委員	<p>様式 6 のランニングコストの削減について、交換頻度の高い消耗部品について長寿命化部品に更新するとありますが。</p>
B 者	<p>例えば、破碎器の刃ですが、材質を替えるのではなく、使用方法等を工夫する事で長寿命化させる事です。</p>

B 委員	別途費用が発生するという事ですか。
B 者	あくまでご提案ですので、こういう事をさせていただければという事ですので協議になります。 破砕器の刃に関しては特許等も絡んでくる事ですので、それらについては別途費用が掛かることもありますので、協議させていただきたいと思います。
小西 (事務局)	質疑の時間、残り 1 分です。
橋川 (事務局)	それでは終了させていただきます。 ありがとうございました。 それでは、早速に評価をお願いいたします。初めに発表がありましたのが A 者、後にありましたのが B 者でございます。15 分程度時間を設けさせていただきますので、よろしくお願いたします
	配点 15 分
委員長	時間になりましたので配点用紙を回収させていただきます。 これより集計を行いますので、委員の皆さまは暫時休憩をお願いいたします。
	休憩・集計作業
委員長	それでは時間となりましたので再開いたします。 リサイクル施設第二次審査の集計結果について報告してください。
橋川 (事務局)	リサイクル施設第二次審査結果についてはこの通りです。
	点数を書いたホワイトボードを提示
小西	二次審査の点数の方発表させていただきたいと思います。 A

(事務局)	者が 66.429。B 者が 63.571。こちらの方で、一次審査、二次審査終わりまして、合計点の方が出ておりますので、合計点の方も発表させていただきます。A 者の方が 281.582。B 者の方が 240.857。以上が結果となっております。
委員長	審査結果について何かご意見はありますでしょうか。
委員全員	異議なし
委員長	それでは、最優先交渉権者は A 者に決定いたします。 では次に、次第 2、「清掃施設運転維持管理事業 2 次審査」を行います。
橋川 (事務局)	それでは、今より B 者のプレゼンをお願いしたいと思います。時間は 40 分以内でございませう。終了 1 分前にまた声を掛けさせていただきますので、途中でありましても、時間になりましたら終了していただきます。それではお願いいたします。
	B 者の提案書の説明 40 分 (門真市情報公開条例第 6 条第 2 号の規定により不開示)
委員長	ありがとうございました。今ご提案いただいた内容について、各委員の方からご質問等ございませうか。
B 委員	様式 6 のところですが、運転維持計画の 2 / 2 の自主基準値を定め、自主基準値を超過するまでに警報を発生させるとなっておりますが、これは何を測定するのですか。
B 者	元々の排ガス規制値、媒煙濃度 5 種ありますが、当然排出基準が定められていまして、排出基準というのは我々からすれば法律であって、それよりもさらに安全な値を基準値として設定し、地域住民の方々との協定等についても不具合が出ないようにしています。
B 委員	幾つか基準値がありますね。

B者	そうですね。
B委員	これは、どれか一つでも基準値が超えれば警報が鳴るのですか。
B者	一般的に実施制御なのか、ブラバイによる調節系によって行っている制御なのかとかもあるんですけど、媒煙濃度の管理に関しましては、媒煙濃度の5品目というのは全て対象になります。 ただし、ダイオキシンに関しましてはリアルタイムの測定器というのがございませんので、ご存知のようにCO濃度を対象として100ppmを超えないような対策を講じるために、警報を発報させるといったことを書いております。
B委員	これは既に、他の施設で実証済みですか。
B者	そうですね。我々の関わっている地方自治体及び所有している12施設については全て設置しています。
B委員	そうですか。
B者	法律を絶対に順守するために、警報を鳴らして抑制手段を図るという考え方です。
A委員	4の3つ目の、排ガス濃度に影響する廃棄物はと書いてあるんですが、排ガス濃度がピークを超える際、排ガス濃度は一般的にCOなんかをいうことが多いのですが、これは何を意味していますか。消石灰使用量削減というとHCLとかそういうことを指しているのですかね。
B者	HCL、酸性ガスを対象として書かせていただいております。
A委員	HCLは、そのミキシングすればピークを抑えられるということなのですかね。 燃焼制御でピークを抑えるとなってるんですけど、HCL自体は燃焼制御で抑えられるものではないんですが、それは均一に濃

	度を抑えられると。
B 者	誤解を与える説明で申し訳ありません。全てが基準値内のものが搬入されてくるとは想定していません。厳しい受け入れ基準を設けておられるでしょうが、どの様なものが搬入されても希釈という考え方で、それを提案させていただいております。
F 委員	地元雇用の所で提案いただいております、地内校との情報交換につきまして、具体的にどのような取り組みを考えていますか。
B 者	具体的にではないですが、我々は、事業が産廃業を主として行っておりますので、産廃業者とのネットワークがありますので、それらを活かして取り組みを行っていきたくと考えていますが、具体的な内容についてはこの場では差し控えさせていただきます。
F 委員	もう一点ですが、その下の総合的なコスト削減に繋がる提案の中の、30 年以上にわたるという所で、プラントメーカーにはない独自のノウハウと書かれていますが、何か具体的な提案があればお答えいただきたい。
B 者	先程図で示しましたものもそうなのですが、もう一つは、温度を計る熱電対というものがあまして、温度が高い所に、例えば燃焼室がありまして、そこに熱電対を刺してあまして、その熱電対というものの寿命が非常に短いですが消耗品としては高価なものですので、我々は消耗のインターバルは掴んでいますので、その時期にすれば保護管だけを取り替えればコストの削減になるということです。他に挙げればキリがないくらいあるんですが。
F 委員	分かりました。
E 委員	総合的なコスト削減に繋がる提案の部分で、材料の材質変更などの改良・改善を行う場合は、自社保有施設にて実証実験を行い採用の可否を検討しますとありますが、具体的に他の施設

B 者	<p>でこういった事をした具体例がありますか。</p> <p>自社の例になりますが、ストーカ炉に関しての例ですが、下にロストルというものがあまして、火格子とも言いますが、プラントメーカーはこういったロストルに関しては一般的には材質は同じでして、我々は検証を行いマンガン等に変更するなど、左右の擦れる部分は摩耗に強い材質に変更を行います。これらを検証してデータ化することにより、保有施設や請負させていただいている地方自治体様へ展開していっている実績はあります。</p>
A 委員	<p>施設運営管理計画の部分ですが、労働安全衛生法、建設業法を順守し工事の安全・品質・コスト削減に努めますとありますが、このコスト削減というのは具体的にどういうことですか。</p>
B 者	<p>工事を実際に施工している段階でのコストについて、どのように縮減できるのかという事ですが、当初は施工計画を立てて、その中に安全管理、品質管理、法定管理、業務管理の方法を盛り込みます。</p> <p>その中で一番コストが上がりにくい、要するに既存の図面を元に新しく更新を行う場合は、既存の施設は10年近く運転をされていますから見えない所で歪みが出てきている場合や、ボルトの穴が合わないというような事が発生します。当初の図面通りいい材質で、いい製作方法で作られた部品を職人が作ってくるのですが、組み立てようとした時にその部品が合わない場合があります。となりますと、次の部品が届くまで、補修出来ないという事になります。</p> <p>これらの事態は我々の経験上歪みや対策が必要な箇所は分かっていますので、適切に指示を出してロスのないように進める事が出来ます。これは経験がなければ分からない事です。</p> <p>それと、工事の進め方ですが、一つは労務管理ですが、我々は第一次請負、第二次請負までで止めて第三次、第四次についてはいたしません。二次の工事監督に責任を持った形で施工と管理を行っていきます。</p> <p>さらに、定期的に我社の基準に則った安全衛生教育が重要と考えていまして、当然協力会社にも少なくとも年に10回は我が</p>

	<p>本社に集まっていたいで教育訓練を積みたいと考えています。</p> <p>当然、建設業法も日々更新されています。出来上がった施設の耐火物を修復する場合は非常に硬い耐火物を壊さないといけない。まずケーシングを出さなければいけない。そうすると硬い所と柔らかい所があるものですから、削岩機で作業してしまいます。その時に作業員の防振対策として作業員の作業時間を縮小させます。</p> <p>簡単に言いますと、運転計画を順守して、法律・保安・予防保全を確立して、それを守ることによってライフサイクルコストを必ず縮減出来ます。</p> <p>リスク管理の所で、ごみ質及びごみ量の変化による影響で、ピット管理の徹底とありますが、具体的にどのような事をするのですか。</p> <p>それと、選別精度の低下を防止するとありますが、何の選別精度の低下を防ぐのですか。</p>
D委員	
B者	<p>それではピット管理の方からお答えします。</p> <p>廃棄物の中には様々な物が混在していますので、焼却施設の運営に関して発熱量をいかにして均一化するかというのは非常に重要なこととして、ミキシングをして投入したにも関わらず、酸性ガス濃度が上昇してしまった場合は、もう一度、そのような結果にならないところの廃棄物を投入することによって発熱量を合わせることを行います。定量投入というのが燃焼を安定化させる最重要事項ですので、そこに留意して監視することをピット管理と考えています。これに関連して、パッカー車の中の展開検査を行う等、その様な事も貴市と協議の上行っていきたいと考えております。</p> <p>選別精度に関しまして、これは粗大ごみ処理ラインの選別の事を指してしまして、ごみ質が変わり粗大ごみラインに投入出来ない処理困難物が増える事が想定しております。その場合、決められた時間内に選別をやり切ることが出来ない可能性がありますので、人員を増員する等して対応する事を考えております。</p>

D委員	ありがとうございました。
A委員	<p>リスク管理の所ですが、非常停止ボタンというのがあるのですが、事例では説明をしていただきましたが、実際にはこのシーケンサーを介さずに停めるという事ですが、これはどこで設置するのか、中央制御室で察知してどこかが停まった。シーケンサーが知らずに出来るとか、この辺の判断は非常に難しいのではないかと。</p>
B者	<p>焼却炉の管理というのは、全体画面なんです。DCS なのかグラフィックパネルなのか仕様が申し訳ないですが分かってないのですが、DCS で言いますと、全体画面がありまして操作画面で操作すると。またはグラフィックパネルを見ながら何が動いていて、何が動いていないかを管理するのですが、赤が運転で緑が停止、赤が急に停まってしまった判断できる状態ではこの装置は必要ないのですが、ところがですね、実態は、弊社が元請けで受けている地方自治体様合わせて7回起こっています。</p> <p>それはどういったことかと言いますと、例えば突然、煙に包まれてしまったとか、そんな状態になった時に何が原因かも分からない状態では対処の仕様が無い。その時は制御電源をバイパスしてハード回路で動力電源を停めに行くと、そういった形になります。プラントメーカーに関しましても、このような考え方を持っている所と、持っていない所があります。</p> <p>これは是非、これは7回も起こっていますので未曾有や万が一という言葉では済まされないのだからこういうご提案をさせていただいています。あくまで、やるかやらないかは貴市のご判断となります。</p>
小西 (事務局)	残り時間あと1分です
A委員	では最後に、IBF という話でしたが、その7回というのは最終的に原因は分からなかったのですか。
B者	UPS のフリーズでありますとか、制御電源と動力電源とは別ですので、落雷の分配とかによって、弊社は少し仕様が違って

<p>橋川 (事務局)</p>	<p>ロータリーキューンというのがあって、その上で制御電源だけ焼いてしまって動力電源だけ動いているとか、パターンは様々あります。</p> <p>実際そのようなことが起こっていますので、あくまでこれは貴市の保安の確保のために提案させていただいております。</p> <p>時間がまいりました。それではありがとうございました。</p>
<p>橋川 (事務局)</p>	<p style="text-align: center;">機材の撤去</p> <p>それではこれから、焼却施設のA者のプレゼンに入ります。40分用意しております。残り1分になりましたら、こちらからお知らせいたします。時間が来ましたらそこで終了となりますので、よろしく願います。それでは、早速お願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">A者の提案書の説明 40分</p> <p style="text-align: center;">(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。では、各委員の方、ご意見なりご質問なりをお願いいたします。</p>
<p>B委員</p>	<p>よろしいでしょうか。最後のページの総合的なコスト削減に繋がる提案の中での長寿命化目指した提案という事で、門真市において現状の300t炉を維持していくのがいいのか、或いは4号機25年経ってる、5号機18年経ってるそういう中で、新たな技術革新も進んでる中で、新炉を建設する方が急務じゃないかというふうに素人目には思うんですけど、それは財源があるのか。今の炉をどうしていくのが本当に好ましいのか、我々の一番の今後の課題だと思っているのですが、その辺の観点でどのように思っているのか、ご意見を聞かせていただきたいなと思います。</p>
<p>A者</p>	<p>現状維持の場合と新炉を作られる場合としまして。新炉の場合、今の施設を一旦潰して再度新しく地下から全部組み上げて</p>

	<p>くる建設工事が発生します。今ご提案させていただいているのは、今の施設を活かす事によってコストの削減が図れるのではないかというふうに考えております。現在、新設の場合にも2、3年前に積立金コストが上がってきています。他の今申請する所でも建築工事が、職人さんもないという事もございますけれども、立ち遅れてギリギリしか間に合わないということがございます。新設を作って、きれいな状態でスタートするというのであれば、そちらも一つの考え方かと思えますけれども、今単純にコストの面だけを見ると、どうしても建物を活かした方が今現在では優勢があるのではないかという判断をしています。</p>
B委員	<p>経理的には、その方が安上がりだと。</p>
A者	<p>後、地域事情もございます。この施設に新たに作るのか、別途用地をご用意させていただいてメーカーさんが新しく建てるのか。現在、周辺に住宅がございまして、新設の場合解体から全て進めていくのは非常に厳しいのではないかと考えます。</p>
B委員	<p>ありがとうございます。</p>
A者	<p>今の質問で少し補足させていただいてよろしいですか。一つ問題は、ごみが150t炉2炉で300t炉でございますね、門真市さん。今一番勿体ないなと考えておられるのが、エネルギー回収が出来ていない。水噴射炉ってあるということが、一番の問題だと思われてると思うんですよ。当然今の時代エネルギー回収をする施設に財政事情が裕福であれば当然お勧めはするのですが、門真市さんの事情等々を考えますと、今そこに新炉という財政事情ではないとお聞きしておりますので、今回の5ヶ年の委託になったんだと思っております。今後この5ヶ年の間にさらにもう20年の処置を新炉にする方がいいのか、今回ご提案させていただいております長寿命化工事を経て50年の稼働を目指す方がいいのか、門真市さんとよく協議させていただいて一緒になって進めていければと、こう考えております。</p>
A委員	<p>よろしいでしょうか。1/5の中に環境負荷の低減とあります</p>

	<p>が、その中の電力量削減のための省エネルギー機器の採用というのは具体的にどんな事を言ってるのかということと、排ガス処理薬品の使用量低減とそれに伴う飛灰の減量というのはどんな事を意味するのかをお聞かせください。</p>
A者	<p>省エネルギー機器に関しましては、トップランナー方式でうちの場合はモーターが当然対象になってきます。こちらのモーターを随時更新していく場合にはトップランナー基準を満たした製品を随時入れるということです。</p>
B委員	<p>それはこの入札価格の中で。</p>
A者	<p>はい。それで新しいものを納めさせていただこうと考えております。消石灰の方ですけど、今特号という消石灰を使っております、粒形が細かくなって表面積が多いので吸着が出来る、性能が高く維持出来るというふうに変わりつつあるので、そちらの方でもご提案ということです。実際にイメージとしましては、通常の消石灰と言われるものから広範囲に変わることによって消石灰の使用量大体 30%~40%ぐらいが削減できるのではないかとこのように考えております。</p>
B委員	<p>当施設ではしてもらえないんですか。</p>
A者	<p>若干高くはなるんですけど。</p>
A委員	<p>流形が小さくて、処理した時の事を考えるとどのくらい。</p>
A者	<p>単価的には1割から2割高いです。使用量は40%ぐらい削減出来ると考えております。それだけでも、一般的には効果がございませう。プラス処理する灰の量が減ります。そこでは、今現状吹いてる薬品の処理量が、通常の飛灰の処理量の多い所では1/2 ぐらい薬品を処理しているという工場さんもたくさんございませうので、そちらの飛灰量が減るという面でのメリットは大きいと思ひます。</p>
E委員	<p>5/5 の⑦総合的なコスト削減に繋がる提案に民間活力の利用</p>

<p>A者</p>	<p>提案と書いてますけど、外部委託が可能な業務について、民間活力を利用した運営手法およびコスト削減を提案しますという事ですが、何か具体例、どういうものをされているかについて。</p> <p>今回の業務委託範囲ですけれども、まだまだ門真市さんの範疇の部分でございます。例えばそこに書いてます、持ち込みごみの投入部分はお客さんの管理下になってます。その辺も徐々に将来民間委託される方がコスト的にはメリットがあるんじゃないだろうかという考えを一つ持っています。</p> <p>運転業務という部分につきましては、現状運転の単価を門真市さんと民間委託今回の業務内容となってるんですけれども、それも例えばトータルでとなった場合にはメリットが出るのではないかということでそういうご提案をさせていただきたいと考えております。</p> <p>門真市さんの事情に合わせて徐々にこのイメージを持っております。</p>
<p>G委員</p>	<p>御社の実績として他にも色々やられてるんで、御社の今の状況含めてこういうご提案いただいておりますので、ほぼ順調に大きな損傷もなくやってきてるのかなとは思ってんですけど、相当コスト的には安くできるのかなと思うんですけど、漠然とした話でいいので、他市の実績等を踏まえ先進事例のみたいなものがあればお聞かせいただければ有り難いと。</p>
<p>A者</p>	<p>50年という数字はまだ実績はございません。これは我々の企業だけではなくて、環境省で延命化を推進されておりますよね。平成22年度から。そこで交付金をいただきながら延命化されている工場さんが、平成22年度からかなりの数が出てきてます。そういった工場さんは、ほとんど稼働が15年から20年経過した工場さんで、交付金をいただいて延命化をされてるということは、50年近くの稼働を目指されてる工場さんがたくさんあるという、そういう理解をしていただいたらいいかなと思います。</p> <p>門真市さんの場合は大した金を掛けずにというイメージで捉えられてるようなので、今回のピンクの部分の5ヶ年の工事で更新工事を12項目含めていただいています。これは25年或いは18年経ってますので、老朽化に対する対応を少なくとも最低限</p>

	<p>の項目が12項目かなという解釈をしております。その後4号機であれば、長寿命化工事を提案で書かせてもらってるのはもう少し規模が大きい工事。このレベルの工事で50年はもうはっきり言いまして無理です。</p> <p>ただ、新設に比べますと、最近の新設は建設処理能力が5000t万は上回ります、実情としまして。門真市さんの場合、ごみの量が最低200t、300tの能力はありますけれども、ごみの量から言うと200tの炉で例えば100t2基あればなんとかなるごみの量なので、200tの新設を作るとしましても、最低t5000万と計算しますと100億のコストが掛かります。</p> <p>今回この長寿命化工事の規模はまだ金額的に算出しておりませんが、建築が流用できるというメリット、それとできるならば何らかのエネルギー回収を加えたいなど。そういうイメージで新炉に比べて1/2ぐらいのコストで50年の稼働に繋がればなという目論見が多少、今描いております。</p>
A委員	<p>エネルギー回収して二酸化炭素を削減してやっとな感じなので、エネルギー回収を含めた省エネ化とありますが、この辺りをご提案をするということで、この5年間で。具体的にエネルギー回収というのはどういうイメージなんですか。</p>
A者	<p>処理能力からいきますと理想はボイラータービンを設置するのが最も効率の良いエネルギー回収方法となりますよね。当然建築の条件等、荷重条件等ございますので、なかなかそこまで対応できる工場さんは少ないということ踏まえまして、例えば小型のハーフボイラーを設置するなり小型の蒸気発電機を設置する。或いは今当社でスターリングエンジン完全には開発が終わってないのですが、10kgで設置もさせてもらってるんですが、まだまだ費用対応が結びついていない所です。正直な所。</p> <p>そういったもの等々のニーズが進歩していきますと、こういったものでも何らかのエネルギー回収が出来るのではないかとという発想でございます。</p>
A委員	<p>更新工事が終わったら、直ちにといい訳ではないんで、延命化工事というのは出てますので、そういう現実的に言えば、現在で適用出来ていると言え、ハーフボイラーとかマスカリン</p>

	<p>エンジンとかその辺が多分この5年間でご提案いただけるだろうということ。</p>
A者	<p>5年間終わると4号機の方が30年稼動になりますので、ちょっと抜本的な形で手を加える必要があるかなということであらうイメージをさせていただきました。</p>
B委員	<p>2/5にあります、従業員31名と、5/5にあります前選別の8名で、2/5の31名につきましては、門真の方には何名ぐらいおられるのですか。</p>
A者	<p>門真に9人です。細かく言いますと、シルバーさんの方で7名、点検清掃業務やってる者が1名、運転管理やってる者が1名、門真市さんの市民で。</p>
B委員	<p>5/5のシルバーさんではない。</p>
A者	<p>統括責任者を除いた8名はシルバーさんでございます。</p>
B委員	<p>その方は正規の社員ではないんですね。門真市の正規の社員いうたら何人ですか。</p>
A者	<p>2名ですね。</p>
B委員	<p>正規の社員を増やす計画はない。</p>
A者	<p>運転管理業務で当然欠員が出ることが考えられます。そういった時には、一応門真市さんのハローワークなり、人材を優先して募集させていただこうと考えております。</p>
小西 (事務局)	<p>残り1分です。</p>
A委員	<p>2/5の所に4)モニタリング会議というのがあってですね、統括責任者がいつも出てくるのかということと、3/5の所にモニタリング会議の月報とありますが、この月報という例があるのは</p>

A者	<p>ここの管理で全部ここで出来るのか、1台のパソコンで打ち出せて見られるのか。何か作成しないといけないんですか。</p> <p>基本は昼の数値、翌日にはなりますけどその数字を入れていきます。当社の管理方法としての位置づけです。それが月末になって、一つの分になって、こちらでチェックして、最後市と一緒に現状と状況把握を行って対策を考えるというふうなイメージであります。</p>
A委員	<p>モニタリング会議に今一つの資料出てますよね、これ自体はあくまで作られて、会議を行うのは統括責任者だと思ってよろしいですか。</p>
A者	<p>はい、そうです。</p>
橋川 (事務局)	<p>それでは、時間となりましたので、これでA者のプレゼンを終わります。初めにごさいましたけども、今回がA者でございます。配点よろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: center;">配点 15分</p>
委員長	<p>委員の皆さま、配点はもう終わられてますでしょうか。それでは、皆さま終わられてますようですので、集計をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">休憩・二次審査集計 10分</p>
橋川 (事務局)	<p>お待たせいたしました。 配点はこのようになっております。</p> <p style="text-align: center;">点数を書いたホワイトボードを提示</p>
小西 (事務局)	<p>二次審査の点数の方発表させていただきたいと思います。A者が69.286、B者が62.143。 こちらの方で、一次審査、二次審査終わりましたので、合計点の方が出ておりますので、合計点の方も発表させていただきます。</p>

<p>委員長</p>	<p>A者の方が 281.800 、 B者の方が 240.000。以上が結果となっております。</p> <p>審査結果について何かご意見はありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">異議なし</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、最優先交渉権者はA者に決定いたします。</p>
<p>A委員</p>	<p>確認ですが、リサイクル運転維持管理事業のA者は3社のJV ですよね。</p>
<p>小西 (事務局)</p>	<p>いえ、2社のJVです。</p>
<p>A委員</p>	<p>分かりました。</p>
<p>委員長</p>	<p>そしたら、今日4回までこれについては最終だと思いますが、 夜遅くまで、長い間ありがとうございました。</p>